

ぼくせい

令和3年度 富士市立吉永第一小学校
一学校教育目標一 10月号
「あかるく やさしく たくましく」

子供たちのために

校長 市川 典秀

静岡県に発令されていた緊急事態宣言が9月30日に解除されました。全国、静岡県、富士市の感染者数の推移を毎日気にしてきましたが、数の上では減少傾向がみられ少し安心しているところです。しかし、気の緩みがさらなる感染につながる恐れは忘れてはいけないことだと思っています。

夏休みが明け、学校等での生活の様子が気になっていましたが、夏休み前と大きな違いがなく過ごせていることに幸せを感じています。緊急事態宣言のもとでは、今まで以上に次のことに気を付けて過ごしてきました。今後の感染状況の変化を見守っていきたいと思います。

- ・子供たちが校舎に入る前に、体温チェックカードを点検しています。
(このカードは、記録の意味があるため、次の月一か月間は学校で保管していきます。毎日、別の紙に書いているお子さんは毎日の記入をお願いします。紙をなくした場合は申し出てください。)
- ・手洗い、換気、ソーシャルディスタンスに気を付けています。
- ・外遊び、図書館利用を学年で時間を決めて密を避けています。
- ・給食時の手洗い、体調チェック、黙食を徹底しています。

緊急事態宣言下では、合唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカ演奏、調理実習を行わない等、まだまだ子供たちに我慢してもらわなければいけないことが多かったです。これらの状態は、今後の感染状態によって少しずつ変化していきます。

しかし、このような中ですが、日々の授業は着々と進んでいます。グループ活動や話し合い等が思うようにできないことで、GIGAタブレットを使って意見交換する授業を行うクラスも見られるようになりました。自分の考えをタブレットのソフトに記入し、画面上で友達の意見を見合うという方法です。もちろん、コロナの心配がなくなったときには、友達と顔を見合わせ意見を交換していきたいと思いますが、今の状況ではこんなこともできますという先生方の工夫だと思っています。

また、初めての試みとして、3年生以上の面談をタブレットを使ったオンラインで行ってみました。このような状況の中ですが、中止という方向ではなく、どうにかして保護者の皆様と子供たちのことについてお話がしたいという発想のもと校内で相談を重ねた結果の実施です。分散登校中のオンライン朝の会がうまくできたことも、オンライン面談の実施を後押ししてくれました。音声やネットのつながりで多少の不備もあったようですが、おおむねうまくできたのではないかと考えています。

1・2年生でも、3年生以上に兄弟がいるお子さんはオンラインで行うことができました。コロナが落ち着いたら、こちらも保護者の皆様と実際にお会いした面談にしていきたいと考えています。

なお、前期の「あrawれ」を前期終業式当日に配付しますが、この面談でお子さんのことをお伝えできたので、「学校から」という欄を設けませんでした。ご承知おきください。



マスクについてのお知らせです。以前にもお伝えしましたが、学校では感染防止上、より効果が高いといわれている不織布マスクを推奨しています。肌の関係やその他の理由により、不織布が身に着けられないお子さんを除き、不織布のマスクをご用意していただけると助かります。また、最近、布マスク着用のお子さんで、長い間の使用によりひもが伸び、鼻が出ているのを時折見掛けます。その都度鼻までするように話しています。このようなこともあり、不織布マスクを推奨しています。ご理解ご協力をお願いいたします。